

メモリーナビゲーション内蔵 CD / ワンセグ 7型WVGA AVシステム

取付説明書

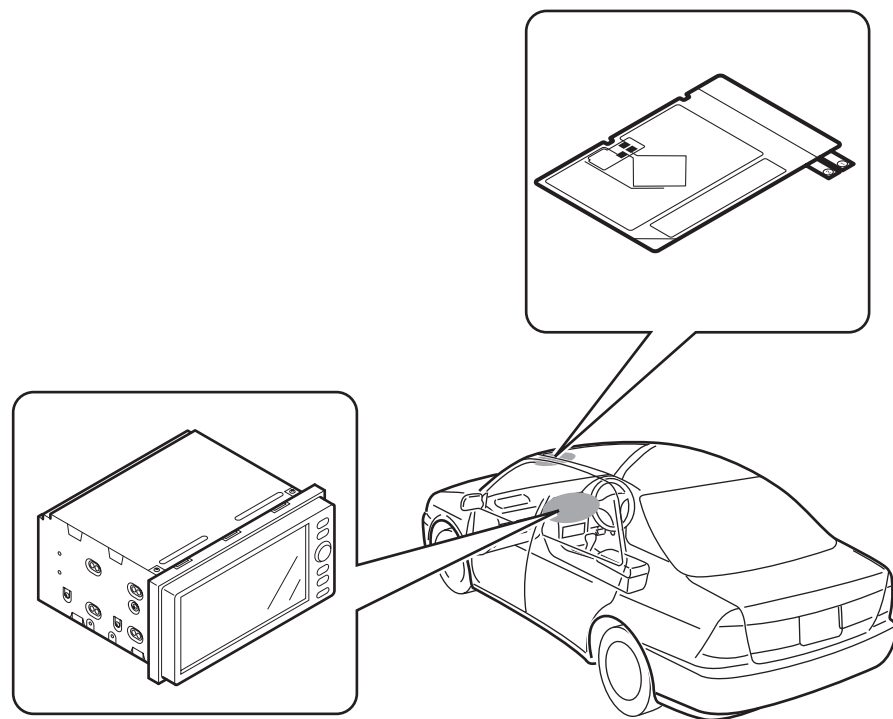
お客さまへのお願い

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の実装には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」、「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ー販売店様へー

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図



●本体関係

①メインユニット ×1	②接続コード (16P) ×1	③接続コード (8P) ×1
④六角ボルト (M5×8) ×8	⑤ハーネス固定テープ ×1	⑥地図SDカード ×1

●フィルムアンテナ関係

⑦フィルムアンテナ ×1	⑧GPS・ワンセグTV アンテナコード ×1	⑨クリーナ ×1
-----------------	------------------------------	-------------

※その他の構成部品(取扱説明書、取付説明書、保証書などの資料類)

●作業の前に

- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
- 別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

●作業の進め方

- 1) バッテリーの⊖端子を外す
- 2) 接続を確認する
- 3) フィルムアンテナを取り付ける
- 4) 配線する
- 5) メインユニットを取り付ける
- 6) バッテリーの⊖端子を元に戻す
- 7) 作動確認をする

(ⓁⓂ接続のしかた)

(ⓁⓂシステム接続例)

(ⓁⓂ取り付けと配線)

(ⓁⓂ取り付け後の作動確認)

●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



：しなければならないことを表しています。



：してはいけないことを表しています。



：注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。



警告

⚠本機はDC12V⊖アース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしないでください。火災の原因となります。

⚠取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。

プラスⓂとマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

⚠本機を次のような場所には取り付けしないでください。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。

⚠車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

⚠ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。

破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

⚠車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。

保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

⚠本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

⚠ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。

規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⚠画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

⚠万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

⚠エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしないでください。

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

⚠電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

⚠接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。

ショートにより火災、感電の原因となります。

⚠コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。



警告

⚠取付説明書で指定された通りに接続してください。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



注意

⚠本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。

⚠必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

⚠雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。

本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

⚠しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。

本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

⚠直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けしないでください。

金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。

また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

⚠本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。

通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

⚠コードが金属部に触れないように配線してください。

金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

⚠コードの配線は、高温部を避けて行ってください。

コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となります。

⚠コード類を決して切断しないでください。

コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

⚠電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。

機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

⚠コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。

雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となります。

⚠本機を車載用として以外は使用しないでください。

感電や怪我の原因となることがあります。

取り付けと配線



注意

- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直すできません。貼付位置を確認して慎重に作業を行ってください。
- 取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
- フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性液体を使用して拭かないでください。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内にはフィルムアンテナを貼ることはできません。詳しくはディーラ等にご相談ください。

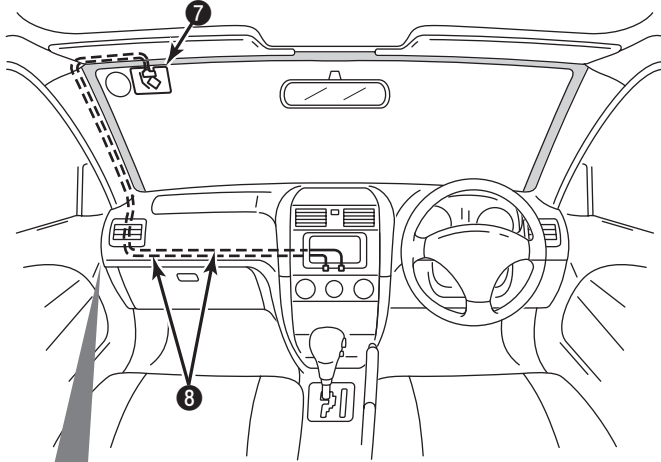
アドバイス

- 次のような場合、電波の受信性能が低下したり、電波を受信できないことがあります。
 - *指定位置や寸法を守らずに貼り付けた場合
 - *車両のピラー等の金属の近くへ貼り付けた場合
 - *フロントガラスに内蔵されているラジオアンテナに重ねて貼り付けた場合
 - *特殊なフロントガラスやフィルム(ミラータイプ、熱線反射タイプや熱線吸収タイプなど)を使用している場合
- 次のような場合、テレビの映像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
 - *ワイパーやエアコンを動作させた場合
 - *電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところなど、電波状況の悪い場所にいるとき
- 気温が低い(20℃以下)時は、フィルムアンテナの粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼り付け位置は変わりません

フィルムアンテナ取付配線概要図

- ❗取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。

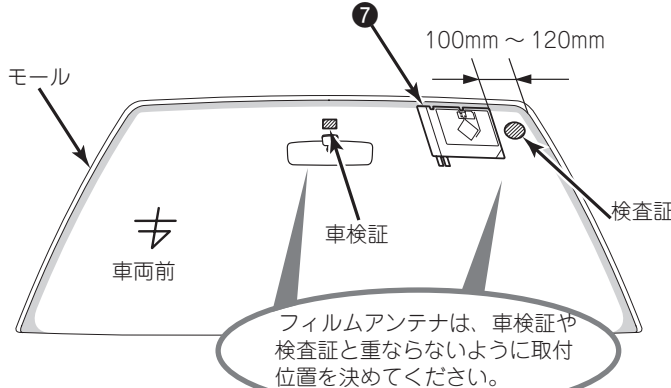
⚠車両のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。



コード配線時は、内装トリムを取り外します。

取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのディーラにお問い合わせください。(作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります。)

アドバイス



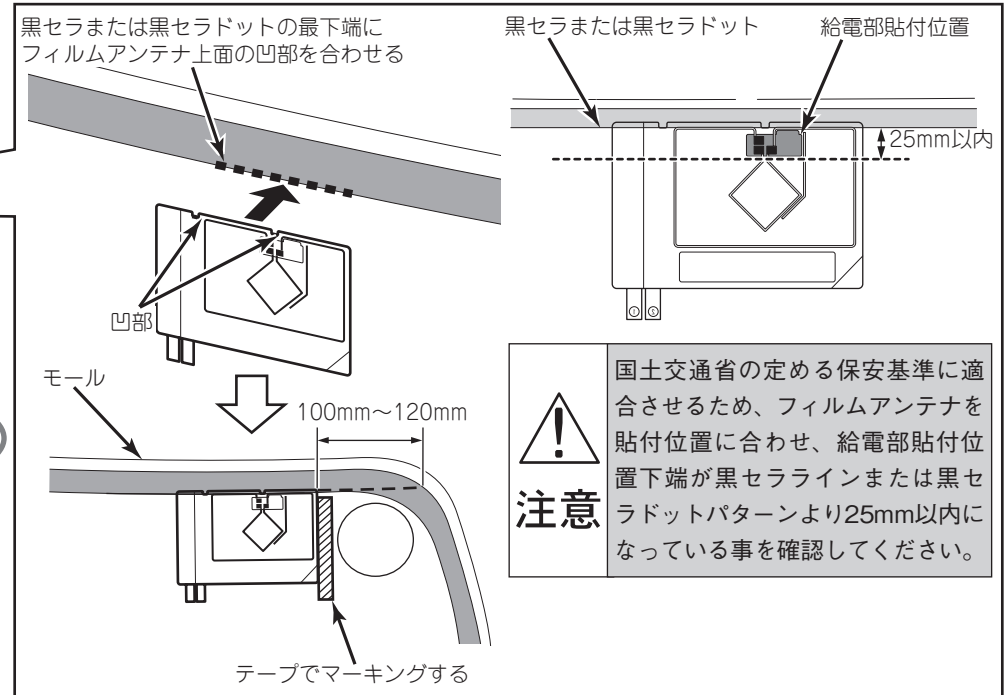
車両外側からフロントガラスを見た図です。

1 フィルムアンテナの貼付位置を決める

- ① フロントガラスの外側にフィルムアンテナをあてる。
 - フィルムアンテナのセパレータおよびフィルムシートをはがさないでください。
- ② フィルムアンテナの凹部の底辺を車両の※黒セラまたは※黒セラドットの最下端に合わせる。
 - ※黒セラ：黒色セラミックラインの略。
フロントガラス端の黒い色部分。
 - ※黒セラドット：黒色セラミックドットパターンの略。
フロントガラス端の黒色のドット部分。
- ③ フィルムアンテナの左右方向をテープ等でマーキングする。
 - モールから100mm～120mmの位置にマーキングしてください。
 - テープはフロントガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。

車両外側からフロントガラスを見た図です。

フィルムアンテナは、車検証や検査証と重ならないように取付位置を決めてください。



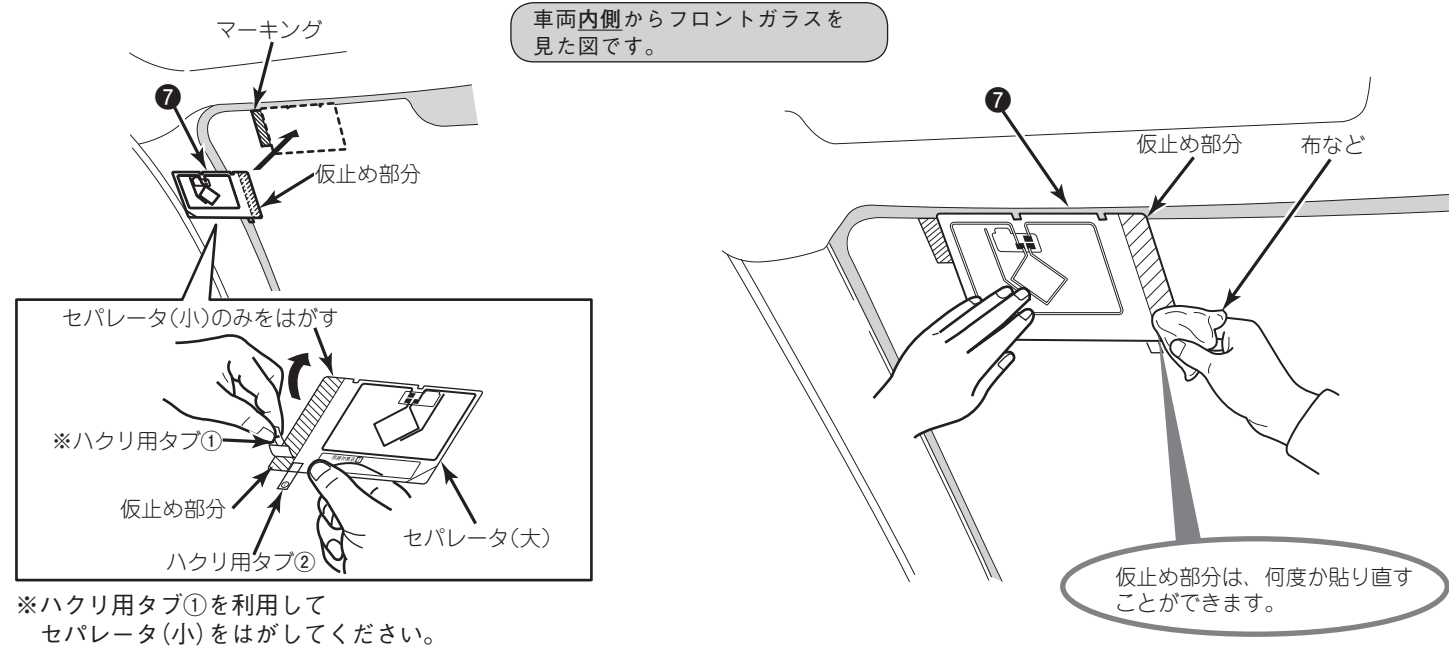
2 フィルムアンテナを仮止めする

- ① フィルムアンテナ貼り付け位置の汚れ、水分、油分などを付属のクリーナーでよく拭きとる。
- ② フィルムアンテナからセパレータ(小)をはがす。
- ③ マーキングに合わせ、フロントガラス(室内側)に仮止める。
 - 仮止め部分を布などでこすって固定してください。



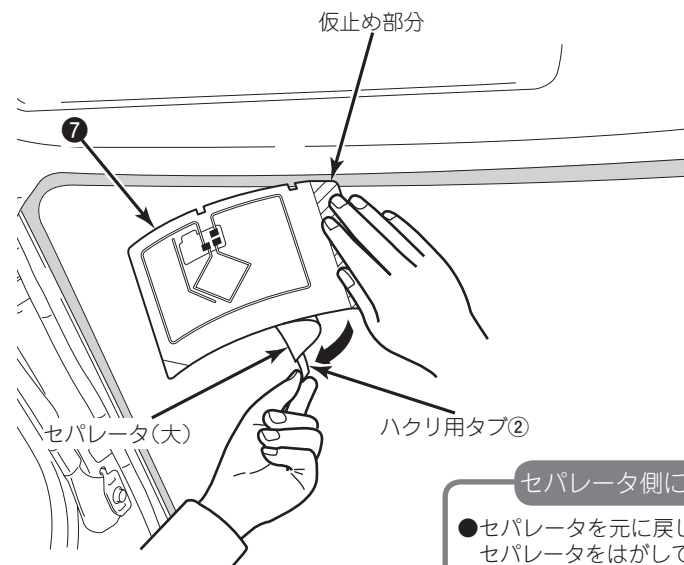
注意

セパレータ(大)：ハクリ用タブ②側は、はがさないでください。フィルムアンテナの仮止めをする前にセパレータ(大)をはがすとフィルムアンテナを正しく貼ることができません。



3 フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける

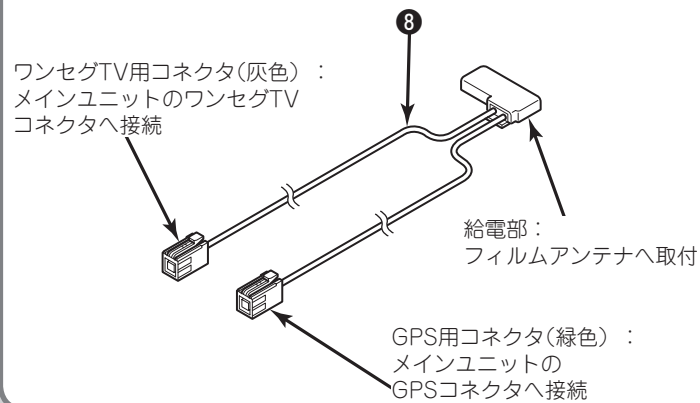
- ① フィルムアンテナからセパレータ(大)をはがす。
 - 仮止め部分を手で押さえながらセパレータ(大)をはがしてください。
 - アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレータ(大)をゆっくりはがしてください。
 - セパレータ(大)を少しずつはがしながらフィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。
- ② フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける。



- セパレータを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度セパレータをはがしてください。
- 初めはフィルムシート側にアンテナパターンがあっても、途中からセパレータ側に残る可能性があります。その場合もセパレータを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度セパレータをはがしてください。

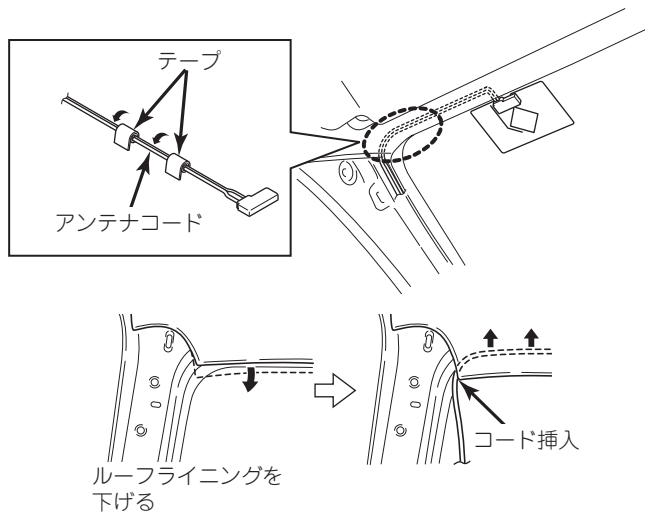
お願い

- GPS・ワンセグTVアンテナコードのコネクタ色および取付先を確認してください。



アドバイス

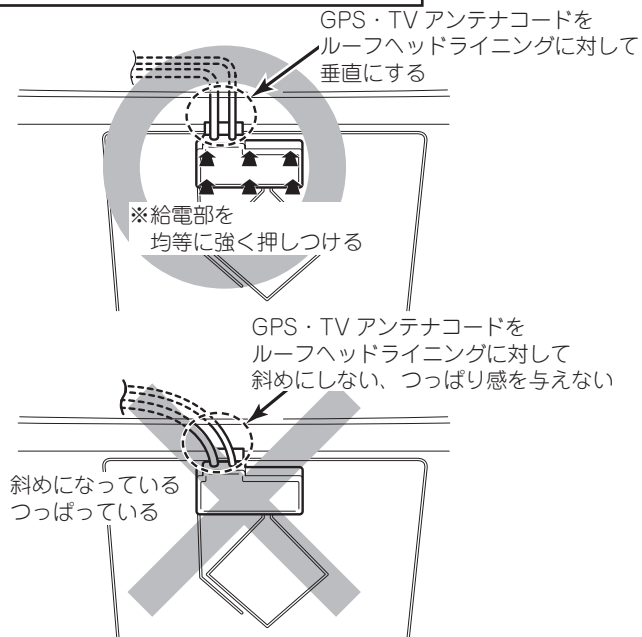
- アンテナコードを強く引っばったり、負荷をかけたりかみ込み等がないようにしてください。ルーファイニングからはみ出す場合は、テープを巻き付けてルーファイニング内に収めてください。
- ルーファイニングに無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。



アドバイス

- 給電部をしばらくの間、均等に押しつける事で両面テープの粘着力が向上します。

GPS・TVアンテナコードの配線上の注意



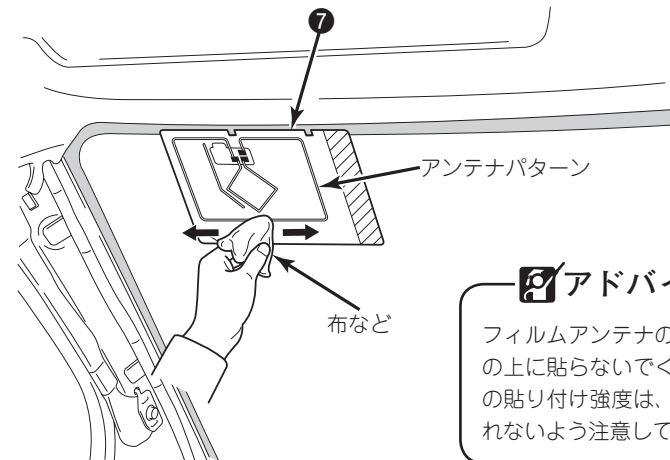
4 アンテナパターン部を定着させる

- ① フィルムアンテナのアンテナパターン部を布などでこすってガラス面に定着させる。
 - シワや傷がつかないようにフィルムシートの上からアンテナパターン部を数回程度こすってください。



注意

アンテナパターン部をこす際は、ヘラなど固いものを使用しないでください。
アンテナパターン部の破損の原因になります。

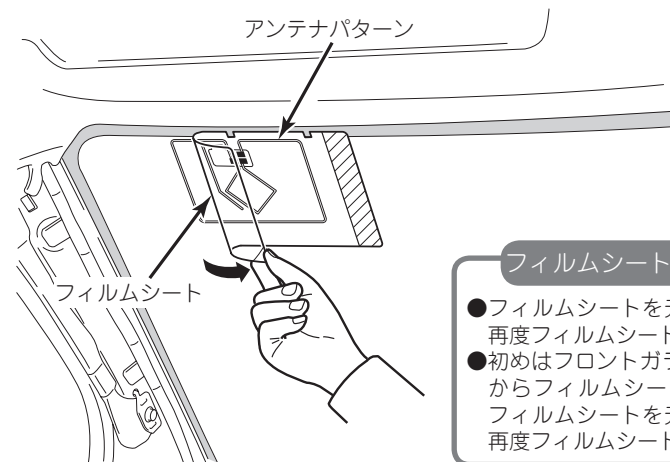


アドバイス

フィルムアンテナの端子ベースを黒セラまたは、黒セラドットの上に貼らないでください。黒セラまたは、黒セラドット部への貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時に、はがれないよう注意してください。

5 フィルムシートをはがす

- ① フィルムシートを角から180° 折り返すようにゆっくりと矢印方向にはがす。
 - アンテナパターンがフィルムシート側に残る場合は、手順4からやり直してください。

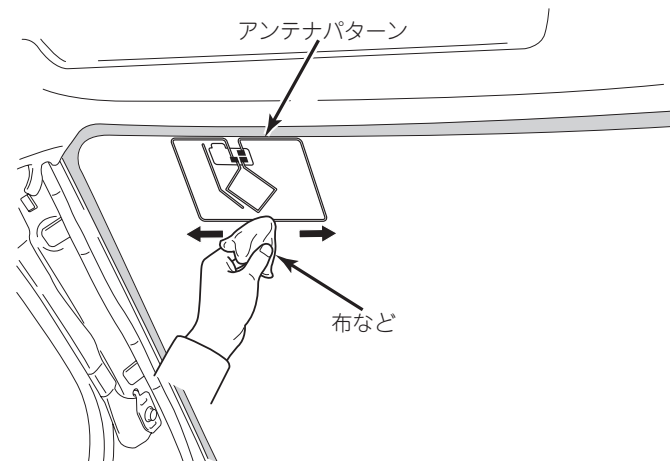


フィルムシート側にアンテナパターンが残った場合

- フィルムシートを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度フィルムシートをはがしてください。
- 初めはフロントガラス側にアンテナパターンがあっても、途中からフィルムシート側に残る可能性があります。その場合もフィルムシートを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度フィルムシートをはがしてください。

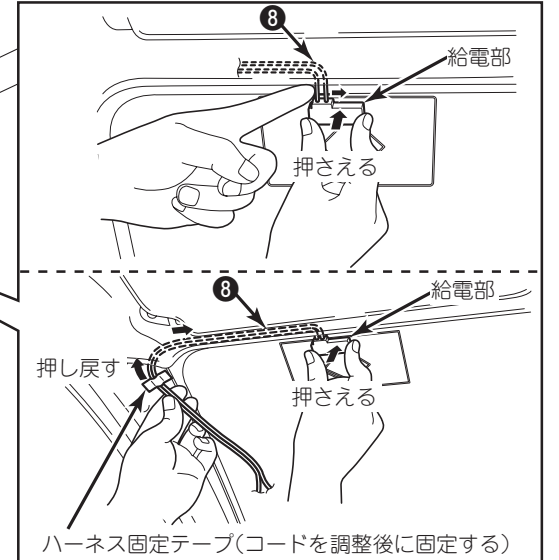
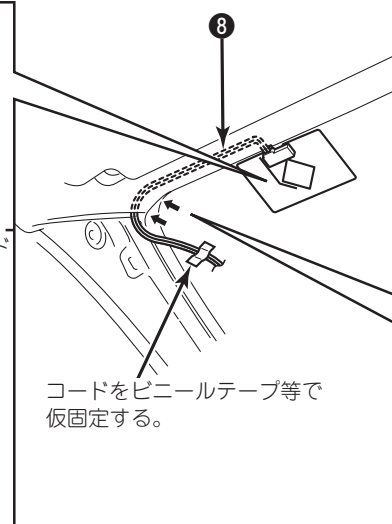
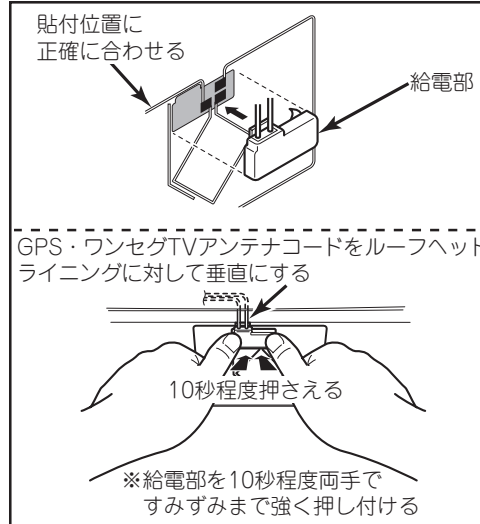
6 アンテナパターンを定着させる

- ① アンテナパターンを布で押さえて、ガラス面にしっかりと定着させる。
 - アンテナパターンにシワや傷がつかないように注意して作業を行ってください。
 - マーキングしたテープを取り外してください。



7 GPS・ワンセグTVアンテナコードの給電部をフィルムアンテナの端子ベースに貼り付ける

- ① 給電部をフィルムアンテナの貼付位置に合わせて正確に貼り付ける。
- ② 給電部を、10秒程度両手で均等に強く押し付ける。
- ③ 給電部を手で押さえながらGPS・TVアンテナコードをルーフヘッドライニングに対して垂直になるように指で調整する。
- ④ 給電部を手で押さえながらGPS・TVアンテナコードをルーフヘッドライニングの端から押し戻す。
- ⑤ GPS・TVアンテナコードがルーフヘッドライニングに対して垂直になっている事を確認する。

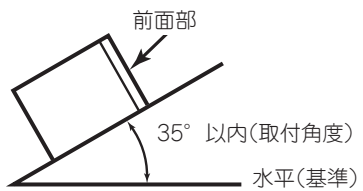


アドバイス

- ・粘着力が低下するため、給電部を貼り直さないでください。
- ・給電部を貼り付ける際、手が給電部の両面テープや、貼付位置にふれないように注意してください。

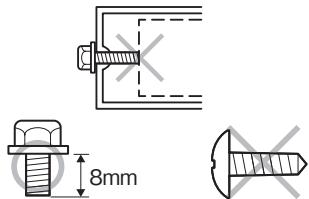
お願い

- センターコンソールの形状によっては、シフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自車位置ズレやディスクの出し入れ等が正常にできない場合がありますので、できるだけ水平に対して35° 以内の角度で取付けてください。



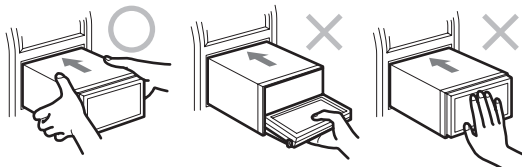
- 必ず付属のねじを使用してください。

取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定以外のねじを使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。

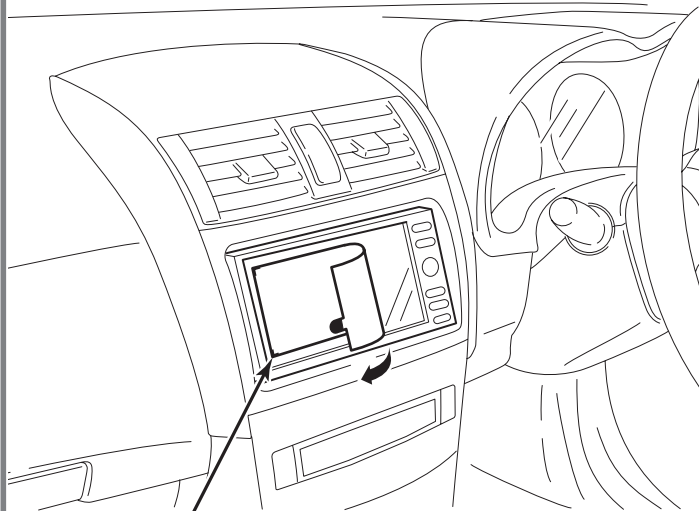


- ディスプレイを手で押さえないでください。

車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ(表示部)やボタンが破損する恐れがあります。



- パネル保護シートはメインユニットを車両に取り付けた後、操作する前に取り外してください。
ディスプレイに傷を付ける恐れがあります。



パネル保護シート

8 GPS・ワンセグTVアンテナコードを配線する

- ① GPS・ワンセグTVアンテナコードをハーネス固定テープ等で固定しながらオーディオ取付位置まで配線する。

- コードは、ハーネス固定テープやお持ちのバンドクランプ等の固定部材を使用して確実に固定してください。
- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にテープを貼り付けてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。



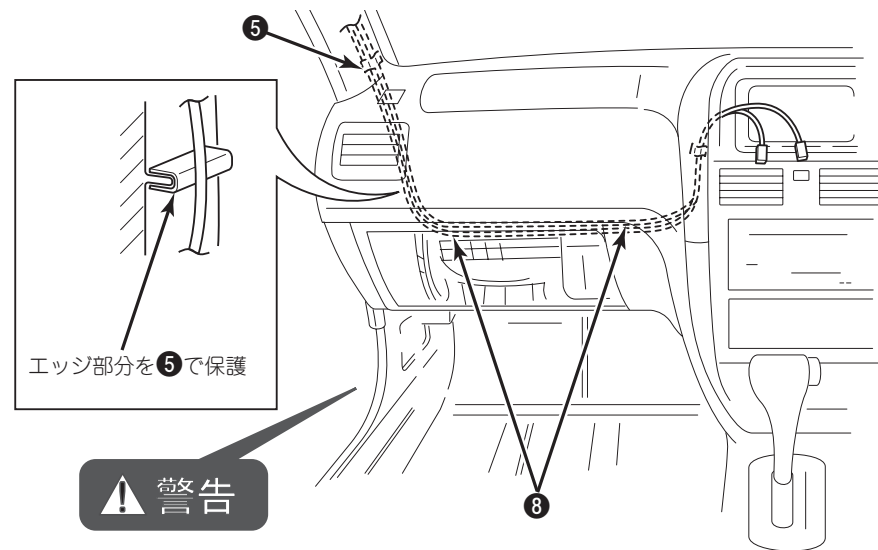
注意

余ったコードをまとめる時は、製品から30cm以上離してください。ナビの性能に影響する場合があります。



警告

コード類は、乗降等の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。可動部等に巻き付くと事故の原因となり危険です。



9 メインユニットにブラケットを取り付ける

- ① 車両のオーディオ、小物入れなどを取り外す。

- ② オーディオ、小物入れなどを取り付けているブラケットを取り外す。

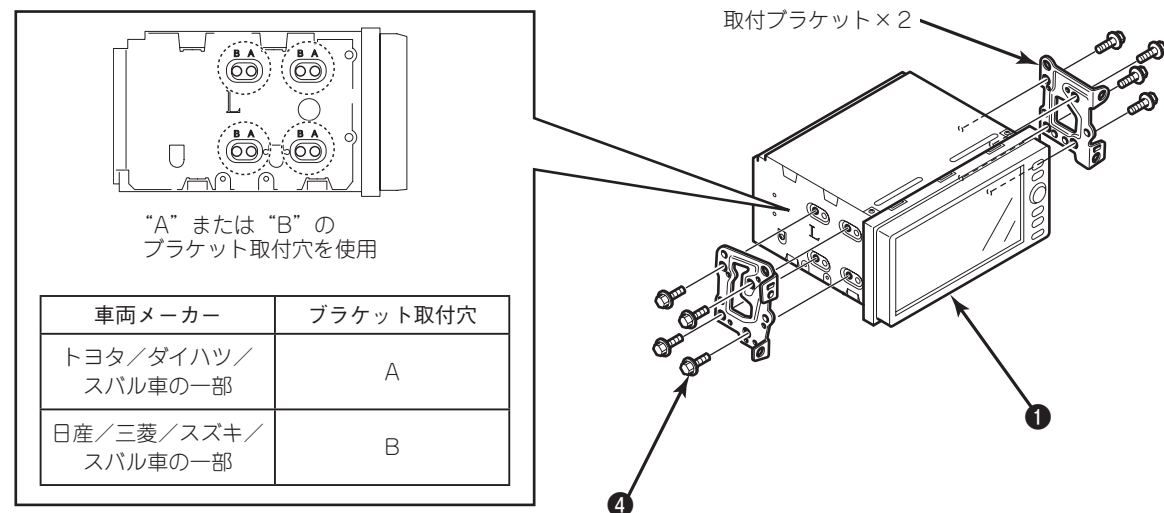
- オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用する取付ブラケットは、車種により異なります。
詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。

- ③ メインユニットにブラケットを取り付ける。



アドバイス

車両メーカーに応じてブラケット取付穴を選んでください。
なおスバル車の場合は車種によって使用する取付穴が異なります。車種別の情報はイクリプスWeb サイト お客様サポート内の「ジャストフィットガイド」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/justfitguide/>)をご確認ください。

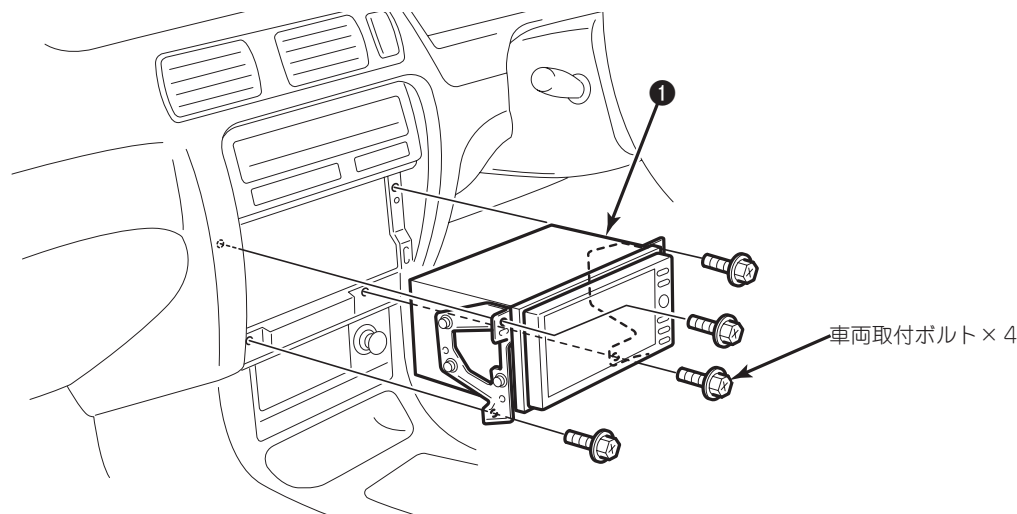


車両メーカー	ブラケット取付穴
トヨタ／ダイハツ／スバル車の一部	A
日産／三菱／スズキ／スバル車の一部	B

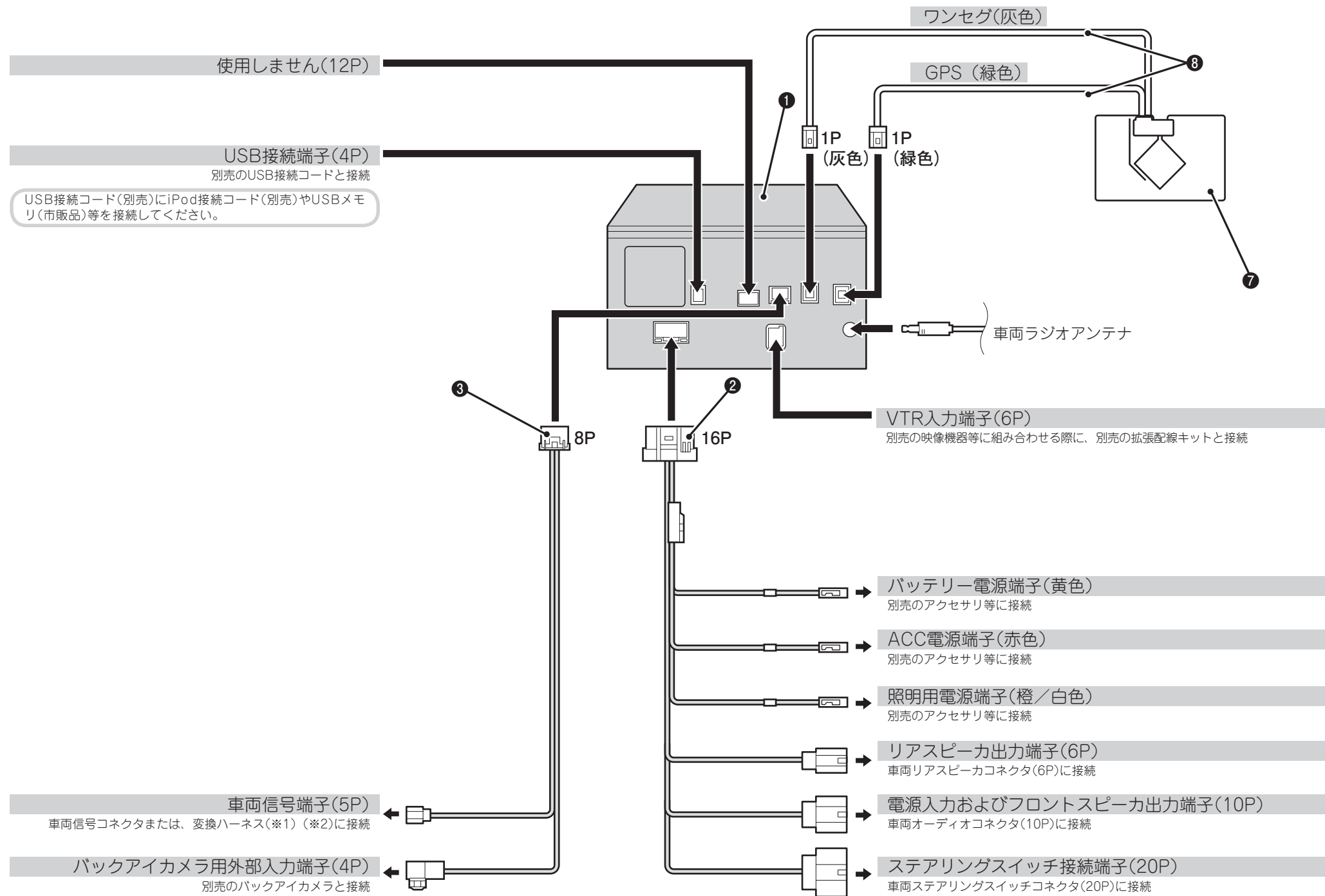
10 メインユニットを車両に取り付ける

- ① メインユニットを車両に取り付ける。

- メインユニットを取り付ける前に各コードを接続してください。



●接続のしかた(1)



注意

- 車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
- 車両信号の取り出しには必ず付属の接続コードまたは、変換ケーブルキット付属のショートコネクタを使用して接続してください。指定外のショートコネクタを使用すると接触不良の原因になります。
- 接続しない端子などは、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災、感電の原因になります。
- 接続コードを本体に接続する前にアースコードを車両側に必ず接続してください。スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。
- スピーカ出力端子と電源/アース端子を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- フィルムアンテナおよびアンテナコードは、本製品に同梱のものを使用してください。同梱品以外のものを使用すると、受信性能が低下する場合があります。
- USB 接続コードは、必ず指定のものを使用してください。



アドバイス

- ・トヨタ、ダイハツ車(10P、6Pコネクタ付き車)以外は、別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプスweb サイト内の「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご確認ください。
- ・車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
- ・ステアリングスイッチの接続先および適合情報については、イクリプスのWeb サイト内「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご確認ください。
- ・※1 別売日産車専用ワイヤキットを使用する場合は、接続方法が異なります。後述の別売日産車専用ワイヤキットを使用する場合は参照してください。
- ・※2 別売汎用ワイヤキットを使用する場合は、接続方法が異なります。後述の別売汎用ワイヤキットを使用する場合は参照してください。



アドバイス

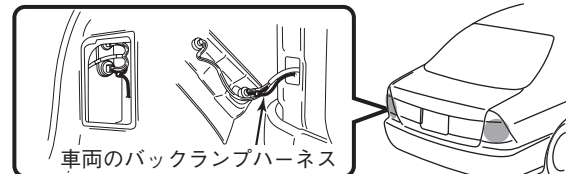
- 別売の日産車専用ワイヤキットまたは、汎用ワイヤキットを使用する場合は、下記の要領にしたがって車両信号を接続してください。

リバース信号端子の接続方法 (紫/白色)

車両の後退を検知するために接続します。

車両のバックランプハーネス等(シフトレバーを「R」の位置にしたときに電圧が変化するハーネス)に接続してください。

- シフトレバーを「R」にした時に6V以上の検知電圧値になることをテスターで確認してください。

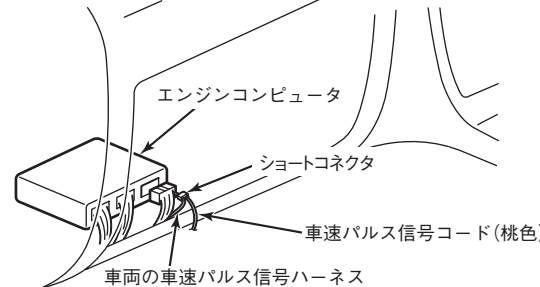


※リバース信号端子を接続しないと車両を後退させた際に自車位置のズレが発生する恐れがあります。

車速パルス信号端子の接続方法 (桃色)

車両の走行を検知するために接続します。

車両の車速パルス信号ハーネスに接続してください。



※車速パルス信号を接続しないと測位精度が大幅に低下します。

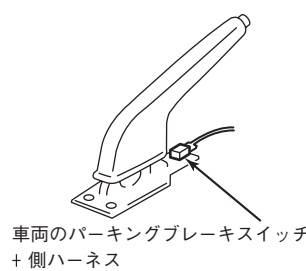
パーキングブレーキ信号端子の接続方法 (若草色)

車両の停車状態を検知するために接続します。

車両のパーキングブレーキスイッチの+側ハーネスに接続してください。

例1)パーキングブレーキが
ハンドブレーキの場合

例2)パーキングブレーキが
フットブレーキの場合

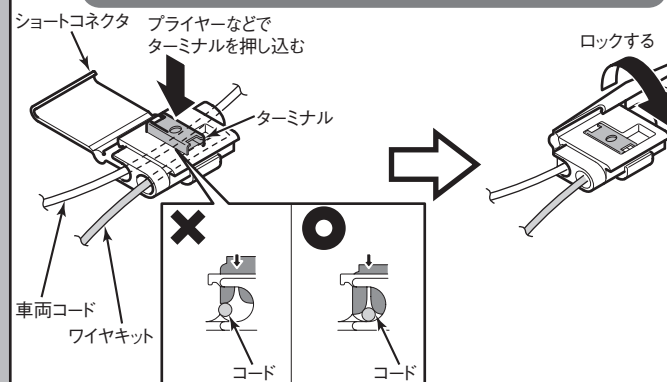


車両のパーキングブレーキスイッチ
+ 側ハーネス



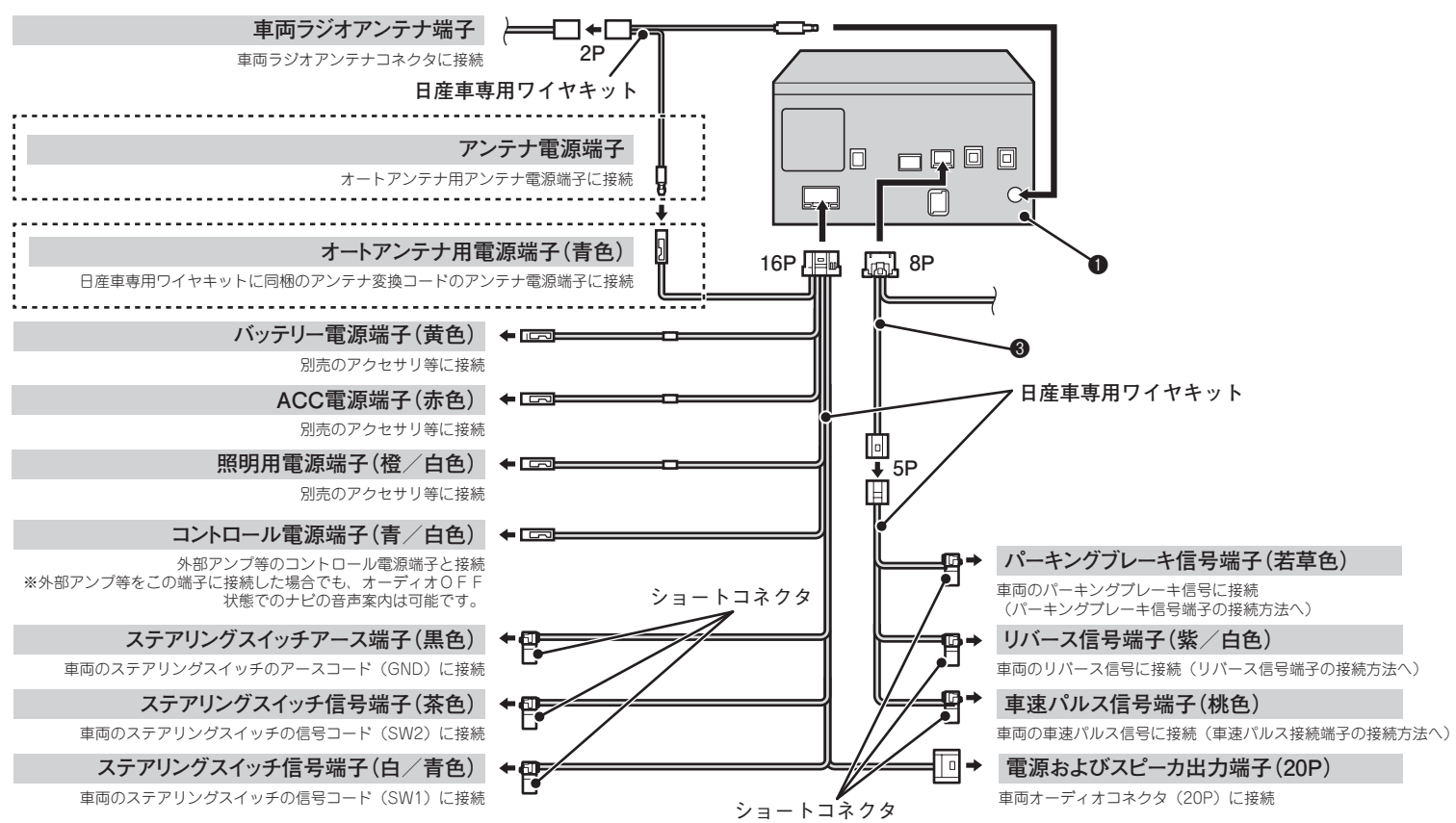
車両のパーキングブレーキスイッチ
+ 側ハーネス

ショートコネクタの使用法

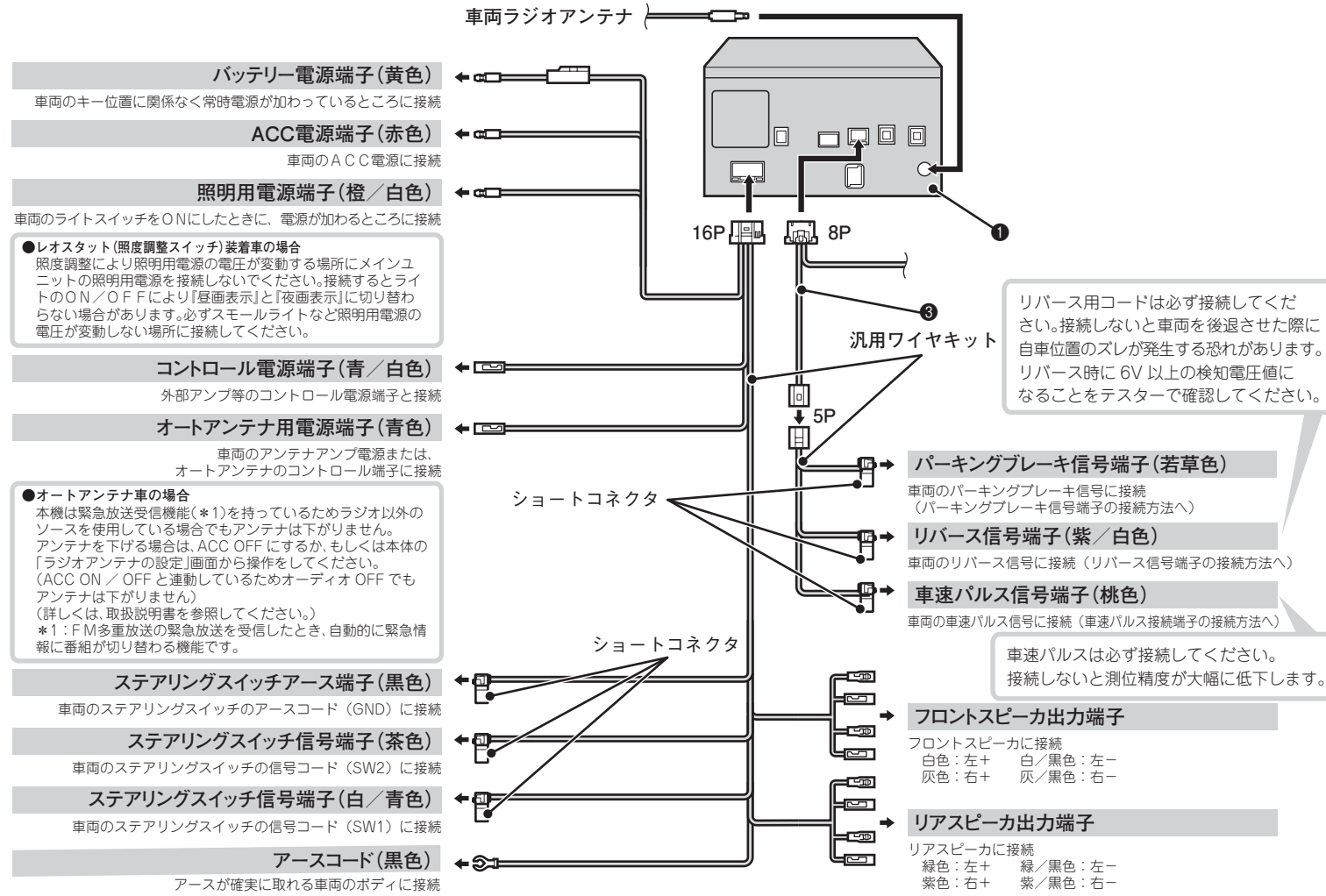


●接続のしかた(2)

●別売 日産車専用ワイヤキットを使用する場合

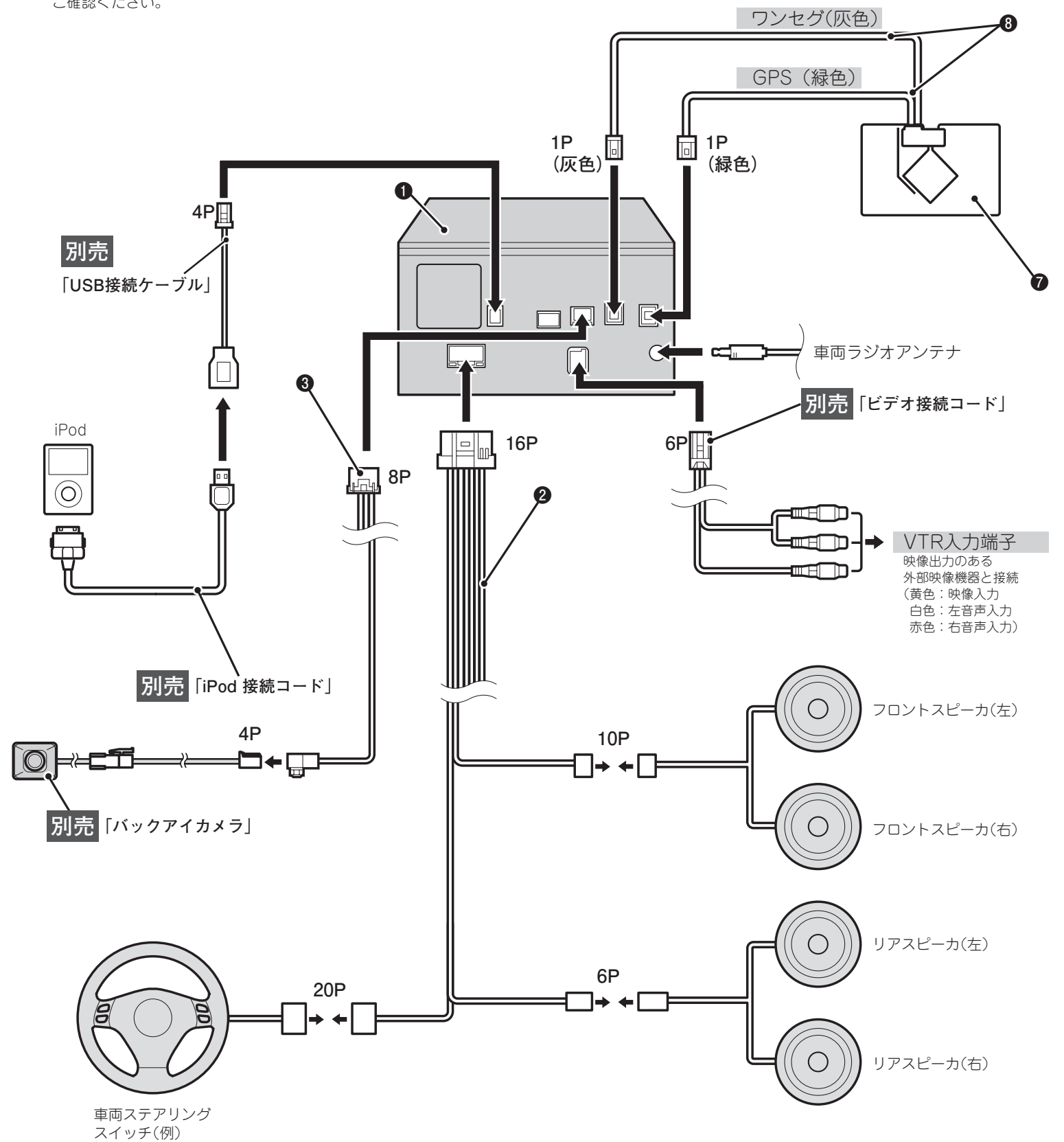


●別売 汎用ワイヤキットを使用する場合



●システム接続例

●車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプスホームページの「お客様サポート」 (<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご確認ください。



● "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

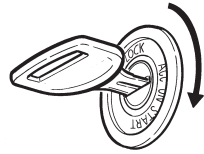
● iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Made for
iPod iPhone

●取り付け後の設定／作動確認

1 車両のエンジンをかけ ナビゲーションを起動する

- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作をしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。



2 SDカードを挿入する

① ボタンを押す。

② SDカード挿入口に、SDカードを挿入する。

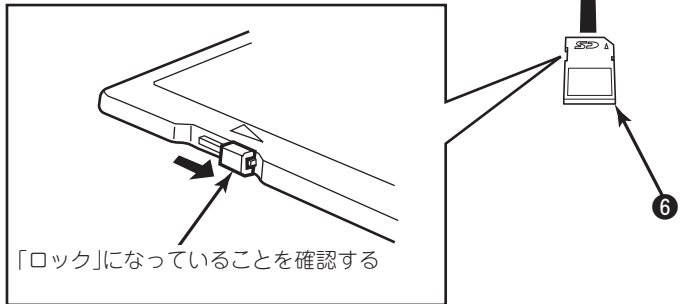
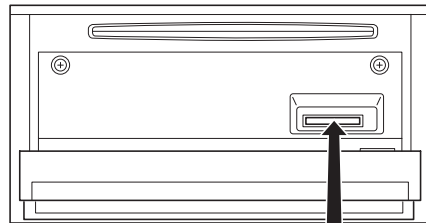
- 挿入する前にSDカードのライトプロテクトタブが「ロック」になっていることを確認してください。工場出荷時は「ロック」になっています。
- SDカードの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥に入れてください。
- SDカードを取り出す際、「カチッ」と音がするまでSDカードを押し、まっすぐ引き出してください。

⚠ 注意

- SDカードのロック解除は絶対に行わないでください。ロック解除状態で使用してデータが破損した場合、保証の対象外となります。

- SDカード挿入中に ボタンに触れないよう注意してください。

③ ボタンを押す。



3 ステアリングスイッチの 設定をする※

※ステアリングスイッチを接続しない場合は設定の必要はありません。

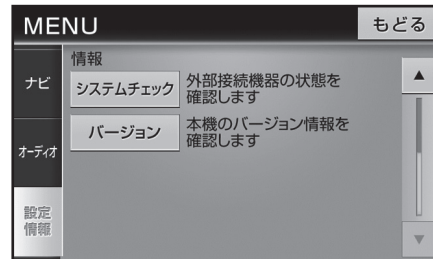
お願い

取扱説明書を参照し、ステアリングスイッチの設定を行ってください。

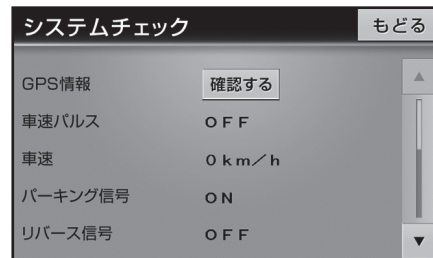
4 見通しの良い場所で 各信号の接続状態を確認する

- ① **MENU** ボタンを押す。
- ② **設定情報** タブにタッチする。
- ③ **システムチェック** にタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

設定情報画面



システムチェック画面



お願い

●車速パルス

システムチェック画面で走行すると走行状態を確認することができます。表示が変わらないときは、車速パルスの接続状態を確認してください。

●GPS受信感度

しばらく経ってもGPS情報の表示が変わらないときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

●パーキング信号

パーキングブレーキがかかっている場合、表示が“ON”に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が“OFF”に変わります。表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。

●リバース信号

バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が“OFF”に、バックギヤにシフトしている場合、表示が“ON”に変わります。表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。